

郷土館講座



軍馬山花ハイク



駒ヶ丘公園（通称：軍馬山）には希少な植物が生育している一方、外来種も多いなど郷土館の調査によってさまざまなことがわかってきました。学芸員による花の解説を聞きながら、軍馬山を散策してみませんか？標茶の市街地のすぐそばで、こんなにたくさんの花が咲いていることにきっと驚かれるはずですよ。



1. 日時／6月22日(出) 午前9時30分～正午
 2. 集合／駒ヶ丘公園（通称：軍馬山）スキー場
 3. 定員／10人（小学4年生以下は保護者同伴）
 4. 参加料／無料
 5. 締め切り／6月21日(金)
 6. 申し込み／郷土館
- ※定員になり次第、締め切ります。



大川のほとり

—郷土館だより(第58号)—
☎487-2332

開館時間
午前9時30分～午後4時30分

郷土館より
一筆啓上

4月から5月にかけて、とても寒い日が続きましたが、ちゃんと春はやってくるものですね。

郷土館では6月から8月にかけて様々な取り組みを行います。どうぞご参加ください。（坪）

塘路湖にあるアオサギコロニーの中の巣は1991年に確認されてから急速に数が増え、2003年をピークに現在では200巣前後で維持されているのがわかります（図1）。塘路湖はエサが豊富にあり、巣をかけるのにちょうどいいカラマツ林もあるので、アオサギにとって暮らしやすい環境なのでしょう。



カラマツ林にあるアオサギコロニー

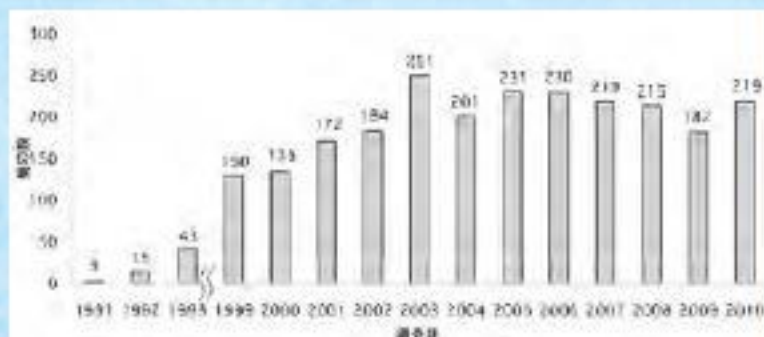


図1 塘路湖におけるアオサギコロニーの巣の数（郷土館調べ）

2、塘路湖コロニーには巣がいくつあるのか？

たずむ首と足が長い水鳥といえば、思い当たる方もいるかと思いますが。時々タンチョウに間違われますが、アオサギはタンチョウと違って首を曲げて飛び、木の上に止まることができるので見分けがつくかと思えます。



水辺にたたずむアオサギ

1、アオサギってどんな鳥？

アオサギは大きさ90cmほどの日本最大のサギです。春～夏にかけて塘路湖周辺の水辺でた

塘路湖のほとりに、釧路管内最大のアオサギの集団巣（コロニー）があることを知っていますか？今回はアオサギを紹介します。



首を曲げて飛ぶアオサギ

「塘路のアオサギ事情」

しづちゃ写真館 (郷土館だより特別号)

「塘路橋と塘路駅通所」 標茶の写真師 島田清兵衛 (しまだせいべい)



撮影 明治28年10月
場所 標茶町塘路
所蔵 町史編さん事務局

この写真は、塘路橋と塘路駅通所を撮影した写真で、現在の国道391号付近から鉦路方向にかけて撮影されています。昔の写真の多くはネガがありませんが、この写真はネガが残されています。標茶町の所蔵写真の中で最古のネガです。ガラス乾板という方法で残されており、現在でも現像する事が出来ます。

この写真を撮影したのは、標茶の写真師 島田清兵衛と考えられています。

烏田は札幌から明治20年頃標茶に移り住み、現在の野崎精肉店付近に居を構えました。烏田は日本人で初めて皆既日食を撮影した事で知られており、黎明期における標茶の発展にも大いに尽くしました。

大正初期頃に烏田清兵衛が亡くなった後も自宅は残されていたようです。当時を知る方のお話によれば、家の中にはガラス乾板が大量に残されていたが、建物取り壊しの際に無くなったそうです。烏田清兵衛は、標茶のどんな風景を撮っていたのか。今となっては失われた事が残念でなりません。



今に残る118年前のガラス乾板

3、鉦路湿原周辺のアオサギコロニーの変遷

鉦路湿原周辺のアオサギコロニーの記録を調べてみると、何度も出現、消滅、分散を繰り返しています(図2)。どこかのコロニーが消えてしまっても、周辺に新たなコロニーを作り、また周辺のコロニーから移住してくることで、鉦路湿原周辺ではアオサギが安定して暮らしてきたことがわかります。

4、塘路湖コロニーの今後

① 塘路湖のコロニーの内部事情

塘路湖コロニーでは、2003年の段階でアオサギが巣を作るような高い木は877本ありましたが、2009年までにそのうちの17・7%(155本)が倒木や立ち枯れなどを起こしていました。しかし前述のとおり、巣の数は200巣前後で安定しています。これは今まで巣がかけられていなかった林の中心部へ南側に巣を移動させることで数を維持しているようです。

② 今後どうなるか?

コロニーが消滅してしまう原因には、コロニー周辺での工事の影響などの他に、巣をかけていた木が枯れてしまうという自然の流れで起こることがあります。塘路湖コロニーもいつかはカラマツの寿命が来て、消滅してしまうでしょう。今あるコロニーを大切にするのはもちろん、いつか塘路湖コロニーが消滅したとき、また新しいコロニーが作れるように、自然環境を維持していくことが大切なのです。

